

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 9月

令和3年9月1日の推計人口 1,295,878人
世帯数 560,262世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

令和3年9月1日現在の推計人口は、1,295,878人で、前月(1,296,841)に比べ963人の減少となった。

市部では、大村市(135)、対馬市(2)の2市で増加し、佐世保市(△403)、長崎市(△288)、島原市(△48)、諫早市(△45)、西海市(△44)、雲仙市(△44)、南島原市(△36)、平戸市(△31)、松浦市(△27)、五島市(△27)、壱岐市(△20)の11市で減少した。

郡部では、川棚町(3)、波佐見町(2)の2町で増加し、長与町(△41)、新上五島町(△40)、小値賀町(△6)、時津町(△4)、東彼杵町(△1)の5町で減少した。

佐々町は増減がなかった。

自然動態は、出生数731人、死亡数1,473人で742人の減少、社会動態は、転入者数2,998人(県内転入を含む)、転出者3,219人(県内転出を含む)で、221人の減少となった。

2 世帯数

令和3年9月1日現在の世帯数は、560,262世帯で前月(560,452)に比べ190世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…7月

1人当たり現金給与総額 340,892円
対前月比 25.0%減少
対前年同月比 0.7%増加

1 賃金

7月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は340,892円で、前月に比べ25.0%減少し、前年同月に比べ0.7%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は254,187円で、前月に比べ0.9%減少し、前年同月に比べ1.1%減少した。

特別給与額は86,705円で、前年同月に比べ、5,019円増加した。

2 労働時間

7月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は151.4時間で、前月に比べ1.1%減少し、前年同月に比べ1.3%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は140.7時間で前月に比べ1.1%減少し、前年同月に比べ1.8%減少した。

所定外労働時間数は10.7時間で、前月に比べ増減率は0.0%であり、前年同月に比べ4.8%増加した。

3 雇用

7月の常用労働者数は210,972人で、前月に比べ0.2%減少し、前年同月に比べ0.8%増加した。

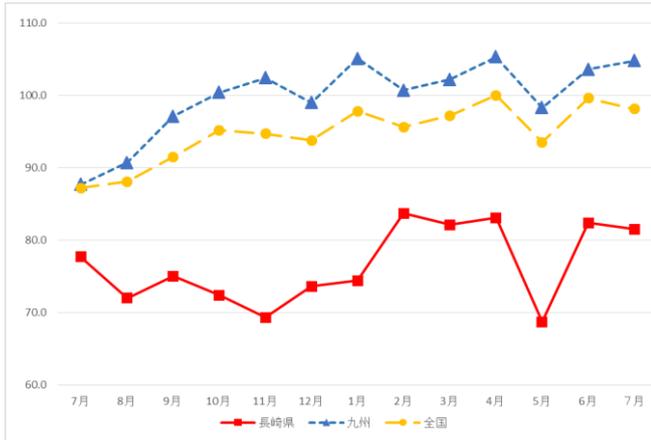
【鉱工業生産指数】…………… 7月

令和3年7月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	指数	前月比(%)		
長崎県	81.5	△1.1	81.2	4.5
九州	104.8	1.8	104.6	14.1
全国	98.1	1.5	100.4	11.6

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



2021年7月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が81.5で対前月比は1.1%の減、原指数は81.2で対前年同月比は4.5%の増となった。

業種別にみると、電子部品・デバイス工業、食料品工業など3業種が上昇し、輸送機械工業、はん用・生産用機械工業、電気機械工業など10業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	13.7	半導体集積回路
食料品工業	0.2	生洋菓子

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
輸送機械工業	△17.8	修繕船
はん用・生産用機械工業	△8.6	蒸気タービンの部品・付属品
電気機械工業	△8.3	開閉制御装置

(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 8月

総合指数(R2=100)	99.7
対前月比(%)	+0.4
対前年同月比(%)	△0.3

令和3年7月の長崎市の消費者物価総合指数は、令和2年を100として、99.7である。

前月比△0.4%の上昇で、主な上昇要因は「住居」の+1.2%、「食料」の+0.5%であり、主な下落要因は「家具・家事用品」の△1.0%、「被服及び履物」の△1.6%である。

前年同月比は、令和3年4月は△1.0%、5月は△0.8%、6月は△0.4%、7月は△0.6%と推移した後、8月は△0.3%の下落であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は99.7で前月比は+0.3%であり、前年同月比は△0.1%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

住居	1.2 %
教養娯楽	1.2 %
保健医療	0.8 %
食料	0.5 %
諸雑費	0.2 %
光熱・水道	0.1 %

▽同水準の費目

教育	±0.0 %
----	--------

▽下落した費目

被服及び履物	△1.6 %
家具・家事用品	△1.0 %
交通・通信	△0.9 %

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 8月

消費支出(一世帯当たり)	263,488円
前月比	79,644円減(23.2%減)

令和3年8月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は263,488円で、前月比23.2%の減、前年同月比は7.0%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は75.5%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。